

仕様書

環境部

1. 件名

「アジア省エネルギー型資源循環制度導入実証事業／海外実証／タイ王国で発生する使用済自動車の効率的かつ適正な資源循環システム構築／フォローアップ調査」

2. 目的

新興国における非効率な資源の利用、大気汚染や廃棄物の増加などの環境負荷を低減させるための適切な制度の構築を支援する事業として、「アジア省エネルギー型資源循環制度導入実証事業」を実施してきたところ。

2019年度-2020年度、タイ王国において、使用済自動車（ELV：End of Life Vehicle）の解体に伴うフロン類の大気放出や地球温暖化、廃油・廃液による土壌汚染・水質汚濁といった環境負荷の低減に向けた制度構築支援として「タイ王国で発生する ELV の効率的かつ適正な資源循環システム構築」事業を実施した。

タイ王国においては、今後もモータリゼーションの発展が見込まれることから、先に実施した事業成果をもとに、早期に適切な制度構築が進められるよう、先の事業のフォローアップを目的とした調査を行う。

3. 内容

(1) 「タイ王国で発生する ELV の効率的かつ適正な資源循環システム構築事業」における課題の抽出・整理

先に実施した事業では、我が国における ELV 解体処理、解体後の資源類販売、廃棄物処理といった一連の ELV 技術実証を行い、ELV のリサイクルに関する情報の収集・蓄積、環境配慮・資源循環型の事業を構築するための土台となる基礎的事項を提示し、タイ王国における効率的かつ環境負荷に配慮した ELV 解体、そして解体ライセンス制度導入に向けた取り組みを進展させた。

これら先の事業成果に加え、今後タイにおける ELV の持続的・安定的なリサイクル制度を早期に確立し、リサイクル事業として普及させるため、以下の点について課題を抽出・整理し、先の NEDO 事業におけるタイ政府関係者等へ提案を行う。

- ① タイにおける自動車の適正解体制度構築に向けたインセンティブ・規制等のタイ政府内における検討状況の把握とそれらに基づく必要な制度システムの整理
- ② 自動車解体にかかわるステークホルダーの整理と新たに構築すべきシステムの要件整理
- ③ ELV を解体または ELV から有用部品を回収する際に生じる廃油・廃液、フロン類など環境に負荷を与える物質の廃棄に関する規制について

④ ELV リサイクルに伴う廃棄物の適正な処理費用の試算、資金管理について

(2) ELV の管理情報システムについて

(1) で抽出・整理された課題を、日本で運用されている ELV 情報管理システム等をベースに、タイでの運用を想定した管理システムにカスタマイズし、タイ政府関係者等とも協力し、デモンストレーションを行う。

システムの構築・デモンストレーションに当たっては、NEDO 及びタイ政府関係者との打ち合わせ等を行い、必要な要件の定義やデモンストレーションに必要な改修を行う。

なお、本調査後のシステムの継続運用もしくは具体的な活用方法についても検討し、タイ政府関係者等への提言として以下の点について取りまとめる。

- ① ELV 情報管理システムの要件検討
- ② 日本運用版の改変等による、ELV 情報管理システム構築の設計・導入
- ③ ELV 情報管理システム運用に当たって発生しうるリスクの整理と対策
- ④ ELV 情報管理システムの運用状況の確認等、普及に向けた対応

(3) 本事業の横展開の可能性について

本事業により構築された自動車リサイクル制度について、第三国への展開について検討する。

4. 調査期間

NEDO が指定する日から 2022 年 3 月 18 日迄

5. 予算額

20 百万円未満

6. 報告書

提出期限：2022 年 3 月 18 日

提出方法：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って提出のこと。

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

7. 報告会の開催

委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがある。

以上